

令和 3 年度第 2 回草津市文化振興審議会 会議録

▼日時：

令和 3 年 9 月 17 日（金） 15：00-15：45

▼場所：

草津市役所 8 階 大会議室

▼出席委員：

中川会長、糸乗委員、澤委員、寺村委員、中村徹委員、久泉委員、古川委員、安積委員、宇野委員、中村敏枝委員、小寺委員

▼欠席委員：

松本委員、五十川委員、園田委員、成田委員

▼事務局：

藤田教育長、南川部長、田中副部長、上原生涯学習課長、岩間歴史文化財課長、高阪生涯学習課長補佐、加藤歴史文化財課長補佐、松岡主査、奥村主査、

▼傍聴者：

0 名

1. 開会

【教育長挨拶】

本日は、公私とも何かと御多用のところ、令和 3 年度「第 2 回草津市文化振興審議会」に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、日頃から本市文化行政に格別の御理解と御支援をいただいておりますことに、併せて感謝申し上げます。

さて、今回の審議会から新たに 5 名の方に御参加いただいております。後ほど、私の方から中川会長に諮問書をお渡しさせていただきますが、草津市文化芸術機能等施設整備基本計画の見直しについて、御審議いただきたいと考えております。

この計画は、草津市西矢倉一丁目にある三ツ池という土地に、市美術展覧会等に対応できる「創作・展示機能」と、文化財等を収蔵・保管・展示する「歴史伝統館機能」の両機能を持つ施設を整備することを目的に策定しましたが、その後の状況の変化により、この計画を見直す必要が生じている次第でございます。

このようなことから、委員の皆様方におかれましては、この施設の整備の在り方などにつきまして、それぞれのお立場での、地域活動や文化活動の御経験に基づいた、忌憚のない御意見、御提言をいただきますよう、お願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 自己紹介

3. 諮問

4. 審議事項

審議事項（1）部会の設置

【事務局】

<資料に基づき説明>

審議事項（2）部会委員および部会長の選出

【事務局】

<資料に基づき説明>

【会長】

部会の委員については、資料 4 の名簿に記載のある委員にお願いするという事で御承認いただけるか。

<一同了承>

【会長】

次に、部会長については、学識経験者枠で委嘱いただいている A 委員にお願いしたいと考えているが、御承認いただけるか。

<一同了承>

【会長】

A 委員から一言お願いする。

【A 委員】

附属機関の委員として、草津市の教育に関わらせていただいていた。

専門は異なるが頑張りたい。

審議事項（3）見直しにかかる方針

【事務局】

<資料に基づき説明>

【会長】

これまでの経過と部会の位置付けを確認したい。

本審議会には、文化芸術機能等検討部会の他、重点プロジェクト検討部会、施策評価部会が設置されている。今回の文化芸術機能等検討部会では、計画で未整備の芸術文化館機能と歴史伝統館機能について答えを出す議論を行うことになる。

文化芸術機能等検討部会以外の他の委員には、部会の作業を見守っていただく、あるいは助言していただくことも必要かと思うが、再確認したいのは、当審議会本来の役割を忘れてはいけないということ。当審議会の所掌事務は、「文化振興に関する計画の策定および推進その他の文化振興に関し必要な事項についての調査審議に関する事務」である。計画は策定し終えているので、次は推進になるが、推進とはどういうことかということ、計画通りに動いているかチェックを行うことである。去年はどうだったのかという評価および助言、ならびに事業の改変、新規事業およびスクラップの提案も当審議会の役目だと思っている。

最後に記されている「その他の文化振興に関して必要な事項」が本日の諮問だと思われる。つまり、本審議会は、政策評価を行う責任機関であるということを再確認したい。

【B委員】

クレアホールには、県から施設の移管を受ける前から関わっているので、また何かあれば意見させていただきたい。

【C委員】

芸術文化館機能は、キラリエ草津に整備したということなので、これに関しては三ツ池に整備しない方向なのか。

【事務局】

芸術文化館機能と歴史伝統館機能について、今の時点で機能として確保できているかどうか検証いただくことになる。

【C委員】

創作活動ができる場所が少ないと思っているので、今の状況でどの程度整備されているのか、検証いただければ。

【D委員】

計画が策定された時、美術協会の会員が非常に期待されていた。クレアホールの移管やキラリエ草津に展示機能が整備されたことはありがたいと思っているが、一番心配するのは、期待されていた方々が満足できる状況になっているかということ。

お金が必要なことなので、100%完璧に達成するという事は難しいということも理解してい

るが、取り残されている部分があるのではないか。美術協会だけでなく、もっと幅広い文化という観点の中で、必要な物が取り残されていないか一緒に考えていきたいと思っている。

【E 委員】

地元から参加しているが、場所的には草津学区寄りである。学区の皆さんがどう認識されているか。計画があまり認知されておらず情報不足という状況ではないか。財産区の方がおられるので、状況を確認しながら違った角度からの意見を述べたい。

【F 委員】

生涯学習センターができるという大きな期待を地元も持っていた。色んな施設が分散整備されることになって、何ができるのか地元も分かっていない。

それぞれの機能について勉強しながら、委員として参加させていただきたい。

【G 委員】

クリアホールはすごく綺麗な施設であるが、三ツ池の方に展示会場が整備されないのは残念。今ある施設がうまく活用されていけばいいと思っている。

【H 委員】

場所的には、今テニスコートがあるところだと思うが、交通が不便で、車が無いから行けないということも聞いたことがある。

施設について色々と計画されているとは思いますが、行くことになった時の駐車場やバス等の案内も必要だと思う。

【I 委員】

最初の計画がすごく魅力的な計画であっただけに、段々と機能が減っていったことで、この計画は、何だったのだろうという思いがある。

市民に納得いただけるような状況になればと思っているので、勉強して頑張っていきたい。

【J 委員】

最初の構想は、非常に壮大で夢のようなものであったが、いつの間にか尻すぼみになってしまった。計画が情勢によって変更になってしまったのは残念であるが、仕方がないという気持ちもある。

施設の整備計画に私たちはどのように携わっていくのか。その評価をしていけばいいのか。

【事務局】

三ツ池に整備する予定であった機能が、キラリエ草津のオープンやアミカホールおよびクリアホールの改修等といった現在の状況により賄えているかといったところを踏まえて、計画の見直しを御検討いただきたいと考えている。

【A委員】

これまでの経緯を御存知の方の御意見も出てきたので、色んな議論が必要になってくることを実感した。御指摘いただいた内容を一つずつ確認しながら進めさせていただければと思う。

全体会にも報告して御意見を頂戴することになると思うが、まずは、今までの経緯を含めて、検討させていただければ。

【会長】

衛紀生氏の言葉を借用すると、美しい、洗練されている、技量が優れているという芸術そのものが持つ価値で評価するという世界がこれまで主流を占めてきたが、これからは、芸術が持つ社会的価値をもっと考えていかないといけない。

0歳から100歳までの世代のうち、一体誰がその価値を享受してきたのだろうか。言葉は悪いが、暇とお金と体力が余っている人達ばかりが楽しんできたような、余暇活動というところから脱却しないといけない。

芸術にはどのような社会的な効果があるのか。例えば、0歳の子供や低年齢の子供が楽器に触れる、あるいは作曲の機会に恵まれるということは、社会的な自立や職業的な可能性を開いていくという点でどれだけ大きな効果があるのか、というような観点で議論されることはあまりない。

阪神淡路大震災の時は、現在のコロナ禍のように文化活動が一斉に中止になってしまった。劇場で音楽を聞くことが、好ましくないという風潮になってないか。私たちの人権が規制されているのではないか。そういう意味でも芸術の社会的な効果を考えないといけないと思っている。

それともう一つ、芸術には経済的効果もある。外部の人々を誘引するとか、あるいは一時滞在の人たちを増やしていくなど、経済的な波及効果をもたらすことが着目されているが、これにはあまり議論を割きたくない。それは、当審議会ではなく、観光部門で考えていただきたい。ここでは、社会的効果を考えていきたい。学校、保育者、障害者、外国人、低所得者、高齢者、勤労者、専業主婦の代弁をしてくださる方々がここに集まって、意見を述べることで草津市の文化行政の物差しになっていく。

一方で、先ほど経済効果と言ったが、経済的効果の裏返しはコスト。コストがどれぐらいかかるかという議論を抜きにしてあれも作れこれも作れということを行っていたら、あっという間に草津は倒れてしまう。どのような水準の物というのは、アーティストの方々がお考えになったら良いが、誰に向かってということをお願いしたい。

4. 閉会
